

日本語教育概論I				単位数	2単位
授業コード	16790	科目ナンバリング	560A1-1000-x2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	青井 由佳				
時間割備考	9/16-18(1, 2, 3, 4限), 9/19(1, 2, 3限)				
授業形態(主)	1 講義				
授業形態(副)	2 演習				
担当形態	クラス分け				
研究分野(大学院)					
本授業の概要					
この授業では、日本語教師養成コアカリキュラムの必須の教育内容「<20>日本語教師の資質・能力」を理解し、それらを身につけるために必要な事柄を、社会的な側面、日本語教育の現状、外国語としての日本語といった側面を中心に考える。また、日本語ボランティア教室の見学を行い、実際の日本語教育活動についての理解を深める。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	1. 日本語教師に求められる資質・能力について理解する。			知識・技能／思考・判断・表現力	
2	2. 日本語教育が必要とされる社会的背景について理解し、多文化共生を実現するための方策や、その現状について知る。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	3. 日本語教育の現状や制度、学習者の多様性などについて知る。			知識・技能／思考・判断・表現力	
4	4. 非母語話者の視点から日本語を眺め、日本語を分析的に捉える方法を理解する。			知識・技能／思考・判断・表現力	
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	小テスト(1-4, 5-6, 8-9, 10-11, 12-13の内容について計5回) 30%, 提出物			1／2／3／4	
2	リアクションペーパー等20%			1／2／3／4	
3	クラス内活動20%			1／2／3／4	
4	最終レポート30%			1／2／3／4	
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
講師は外国人留学生等に対する日本語教育に長年携わっている。その経験に基づいた具体的な例などを示しながら、日本語教育活動をより身近に感じられる授業を提供する。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
オリエンテーション／日本語教育とは：日本語教育と国語教育の違い、日本語教師の資格、登録日本語教員とは					
事前学修	教科書を準備する 日本語教育について、今持っているイメージを整理しておく（授業で質問します）			30分	
事後学修	教科書p. 211-214を再読し、日本語教師とはどんな仕事か、何を求められているかを整理する			60分	
世界の日本語教育事情：海外の日本語学習者、日本語教育機関、海外で働くには					
事前学修	教科書p. 436-445を読み、予習シートを完成させる			60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する			60分	
日本国内の日本語教育事情①：日本の在留外国人、外国人施策、多様化する日本語学習者、多文化共生、日本語教育機関、ボランティア教室					
事前学修	教科書p. 423-445を読み、予習シートを完成させる			60分	
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる			60分	
日本国内の日本語教育事情②：認定日本語登録機関、日本語の試験（JLPT, EJU, J-TESTほか）					
事前学修	教科書p. 445-448を読み、予習シートを完成させる			60分	
事後学修	授業の内容を整理し、次週の小テストに備える			60分	
多言語多文化主義：複言語複文化主義、CEFR、日本語教育の参照枠、JFスタンダード（1～4回の内容についての小テスト）					
事前学修	教科書p. 389-391を読み、予習シートを完成させる			60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する			60分	

世界の中の日本語：母語話者数、言語のタイプなどを比較し、日本語を学習する時の困難さについて考える		
事前学修	教科書p. 165-183を読み、予習シートを完成させる	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる 次週の小テストの準備をする	60分
ボランティア教室の見学：活動がどのように行われているか、どのような学習者がどのように学習しているか、実際の教室を見学することでイメージをつかむ（5、6回についての小テスト）		
事前学修	教室への行き方、時間などを確認する	30分
事後学修	教室見学の感想をまとめる	60分
日本語教育の音声１：拍、アクセント、イントネーションなど韻律面から日本語の音声を眺め、円滑な音声コミュニケーションを行うための指導について考える		
事前学修	教科書p. 110-114, 470-474, 488-494を読み、予習シートを完成させる 音声について事前に学習したことがあれば、その内容を復習しておく	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる	60分
日本語教育の音声２：調音点、調音法など音声面から日本語の音声を眺め、円滑な音声コミュニケーションを行うための指導について考える		
事前学修	教科書p. 460-494を読み、予習シートを完成させる 音声について事前に学習したことがあれば、その内容を復習しておく	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる 次週の小テストの準備をする	60分
日本語教育の文字：他言語の文字と比較をしながら、日本語の文字の特徴や学習の困難さについて理解し、授業の中で文字をどのように扱うのかを考える（8、9回についての小テスト）		
事前学修	教科書p. 184-191を読み、予習シートを完成させる	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる	60分
日本語教育の語彙：日本語の形態論的特徴や、語と語の意味関係について理解し、効果的な語彙の教え方や説明の方法を考える		
事前学修	教科書p. 115-125, 130-141を読み、予習シートを完成させる	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる 次週の小テストの準備をする	60分
日本語教育の文法１：日本語教育における品詞や、動詞のグループ、活用形について理解する（10、11回についての小テスト）		
事前学修	教科書p. 25-30を読み、予習シートを完成させる 高校までに習った国語文法について復習しておく	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる	60分
日本語教育の文法２：日本語教育における形容詞、助詞について理解する		
事前学修	教科書p. 31-34, 42-48, を読み、予習シートを完成させる	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる 次週の小テストの準備をする	60分
日本語教育の語用論：日本語の曖昧さ、わかりにくさについて考え、敬語、位相、非言語行動、語用論的規範について理解する（12、13回についての小テスト）		
事前学修	教科書p. 145-164, 402-412, を読み、予習シートを完成させる	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる	60分
日本語教師の資質：授業のまとめとして、日本語教師に必要な資質・能力を考える やさしい日本語：非日本語母語話者との円滑なコミュニケーションのために、どのような工夫をすればわかりやすい日本語ができるのか理解し、使えるようになる		
事前学修	教科書p. 412-414, を読み、予習シートを完成させる ここまでの授業での学びを振り返り、日本語教師にはどのような資質が必要か考える	60分
事後学修	期末レポートの準備をする	180分

試験等
最終レポート
試験のフィードバックの方法
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
超基礎・日本語教育／森篤嗣／くろしお出版／1600／9784874248034／冊子版
超基礎・日本語教育のための 日本語学／太田 陽子／くろしお出版／1800／9784874248850／冊子版
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
いちばんやさしい日本語教育入門／今井新悟／アスク出版／2000／9784866391915／冊子版
日本語教師のためのCEFR／奥村 三葉子／くろしお出版／2000／9784874247013／冊子版
【第5版】日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド 日本語教育能力検定試験学習書／ヒューマンアカデミー／著／翔泳社／3200／9784798167190／冊子版
その他授業で指示する
オフィスアワー
質問等はメールでも受け付ける
連絡先
s8277@m.ndsu.ac.jp alamakbole@gmail.com
留意事項
ボランティアクラスの見学は火曜の夜（18時-21時）になります。 人数が多い場合は、複数回に分けて行います。 予定が調整できるようにしておいてください。

日本語教育概論II				単位数	2単位
授業コード	16795	科目ナンバリング	560A1-1000-x2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	青井 由佳				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
この授業では、多様な学習者それぞれに効果的で、よりよい授業を作る方法について考えます。そのために、外国語教授法の変遷とその効果、教科書を分析する観点を知り、代表的な初級文型の分析を踏まえて、それをどのように学習者に伝えるのかを考えます。そして、日本語の授業全体の流れをつかみ、授業計画を立て、受講生を相手に短い模擬授業を行います。					
アクティブラーニングの実施内容		問題解決型学習			
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	1. 日本語教師として学習者の学習活動を効果的なものとするために、様々な外国語教授法の変遷とその特徴、技法、教育効果について理解する。			知識・技能／思考・判断・表現力	
2	2. 日本語教育で使われる教材・教科書を分析する観点を理解する。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	3. A1, A2レベル（初級前半）の主要な文法項目を分析、理解し、それぞれの教科書でどのような文脈で扱われているかを比べることができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4	4. 授業の流れについて理解し、授業計画を立て、短い模擬授業を行うことで、これまでの知識の活用や具現化につなげることができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
5	5. 授業を客観的に分析する視点について理解し、振り返りと改善計画を通して、よりよい授業を作る方法を理解する。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	小テスト（1-2回, 4-5回, 6-7回, 8-9回の内容ついて計4回）30%			1／2／3／4／5	
2	模擬授業（教案20%、授業準備10%、授業10%）40%			3／4／5	
3	リアクションペーパー、その他提出物 20%			1／2／3／4／5	
4	授業への参加度10%			1／2／3／4／5	
5					
実務経験のある教員による授業科目				実務あり	
実務経験の授業への活用方法					
講師は外国人留学生等に対する日本語教育に長年携わっている。その経験を基に、効果的な授業の作り方や想定される学生の質問等にご対応するかを提案、指導する。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
様々な教授法1：外国語教授法の変遷を知り、外国語教育に対する考え方の変化、メリットやデメリットについて理解する					
事前学修	教科書を準備する（日本語教育概論Ⅰと同じ） 教科書p. 216-223を読み、予習シートを完成させる（予習シートはmanabaで配布予定）			60分	
事後学修	外国語教授法の変遷と、各教授法の特徴を整理する			60分	
様々な教授法2：タスク中心、行動中心アプローチについて理解する					
事前学修	教科書p. 214-216, 389-391を読み、予習シートを完成させる			60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理し、次週の小テストの準備をする			60分	
教科書とシラバス：シラバスとは何かを理解し、『まるごと』『みんなの日本語』『できる日本語』の対象者や目標、どのようなシラバスに基づいて作られているかを考える（1、2回の内容についての小テスト）					
事前学修	教科書p. 227-233を読み、予習シートを完成させる			60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する			60分	
初級文型1：「NはNです」について、指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような語彙とともに扱われているのかを考える					
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。			60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する			60分	
初級文型2：形容詞について、指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような語彙が扱われているのかを考える					
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。			60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する。次週の小テストの準備をする。			60分	

初級文型 3：動詞について（１）、特に活用形に注目して指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で扱われ、活用形等はどのような順で提出されているのかを考える（４，５回についての小テスト）		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分
初級文型 4：動詞について（２）、特にVて形を使った表現について指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような順で提出されているのかを考える		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する。次週の小テストの準備をする	60分
初級文型 5：助詞について、特に「に」「で」について指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような語彙とともに扱われているのかを考える（6，7回についての小テスト）		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分
初級文型 6：授受表現について指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような語彙とともに扱われているのかを考える		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する。次週の小テストの準備をする。	60分
初級文型 7：いわゆる「は・が文」について指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような語彙とともに扱われているのかを考える（8，9回について的小テスト）		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する。	60分
授業の流れを考える 1：4～10回で扱った文型を扱う15分程度の授業の教案を作る準備（直説法の授業を体験する、授業の流れ、教材教具、教案の書き方、担当決め）		
事前学修	4～10回の内容を扱った授業がどのように行われるかを考える。 教科書p233-242を読み、予習シートを完成させる	90分
事後学修	担当する授業の教案を作成する	120分
授業の流れを考える 2：作成した教案について各自発表し、修正する		
事前学修	教案を作成してくる	120分
事後学修	授業を踏まえ、教案を修正する 教材や教具を準備する	120分
授業の流れを考える 3：修正した教案に必要な教材教具を準備する		
事前学修	教案の修正と教材教具の準備	120分
事後学修	教案の修正と教材教具の準備 模擬授業に向けての練習	120分
模擬授業 1（グループ 1）：受講生を前に授業を行い、再度教案を修正する		
事前学修	教案の修正と教材教具の準備 模擬授業に向けての練習	120分
事後学修	模擬授業を踏まえて、再度教案を修正する	60分
模擬授業 2（グループ 2）：受講生を前に授業を行い、再度教案を修正する		
事前学修	教案の修正と教材教具の準備 模擬授業に向けての練習	120分
事後学修	模擬授業を踏まえて、再度教案を修正する	60分

試験等
レポート（模擬授業後に修正した教案を提出する）
試験のフィードバックの方法
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
超基礎・日本語教育／森篤嗣／くろしお出版／1600／9784874248034／冊子版
超基礎・日本語教育のための 日本語学／太田 陽子／くろしお出版／1800／9784874248850／冊子版
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
【第2版】みんなの日本語初級1本冊／スリーエーネットワーク／編著／スリーエーネットワーク／2500／9784883196036／冊子版
できる日本語 初級 本冊／できる日本語教材開発プロジェクト／アルク／3400／9784757419773／冊子版
まるとと 日本のことばと文化 入門 A1 りかい／独立行政法人国際交流基金／三修社／1700／9784384057539／冊子版
日本語教育実践入門／近藤 安月子／東京大学出版会／2900／9784130820219／冊子版
Can-doで教える 課題遂行型の日本語教育／来嶋洋美／三修社／2500／9784384061178／冊子版
初級日本語文法と教え方のポイント／市川保子／著／スリーエーネットワーク／2000／9784883193363／冊子版
日本語教育よくわかる教授法／小林ミナ／アルク／2000／9784757433175／冊子版
その他、授業にて指示する。
オフィスアワー
質問等はメールでも受け付ける
連絡先
s8277@m.ndsu.ac.jp alamakbole@gmail.com
留意事項
積極的に授業に参加し、発言してください 模擬授業の準備は特に計画的に行ってください

日本語教授法IA					単位数	2単位
授業コード	16802	科目ナンバリング	560A2-2000-x2	開講年度学期	2025年度第1期	
担当者氏名	青井 由佳					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）	2 演習					
担当形態	クラス分け					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
この授業では、日本語教師養成コアカリキュラムの必須の教育内容「<20>日本語教師の資質・能力」を理解し、それらを身につけるために必要な事柄を、社会的な側面、日本語教育の現状、外国語としての日本語といった側面を中心に考える。また、日本語ボランティア教室の見学を行い、実際の日本語教育活動についての理解を深める。						
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション				
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	1. 日本語教師に求められる資質・能力について理解する。				知識・技能／思考・判断・表現力	
2	2. 日本語教育が必要とされる社会的背景について理解し、多文化共生を実現するための方策や、その現状について知る。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	3. 日本語教育の現状や制度、学習者の多様性などについて知る。				知識・技能／思考・判断・表現力	
4	4. 非母語話者の視点から日本語を眺め、日本語を分析的に捉える方法を理解する。				知識・技能／思考・判断・表現力	
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	小テスト（1-4, 5-6, 8-9, 10-11, 12-13の内容について計5回）30%, 提出物				1／2／3／4	
2	リアクションペーパー等20%				1／2／3／4	
3	クラス内活動20%				1／2／3／4	
4	最終レポート30%				1／2／3／4	
5						
実務経験のある教員による授業科目		実務あり				
実務経験の授業への活用方法						
講師は外国人留学生等に対する日本語教育に長年携わっている。その経験に基づいた具体的な例などを示しながら、日本語教育活動をより身近に感じられる授業を提供する。						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間				
オリエンテーション／日本語教育とは：日本語教育と国語教育の違い、日本語教師の資格、登録日本語教員とは						
事前学修	教科書を準備する 日本語教育について、今持っているイメージを整理しておく（授業で質問します）				30分	
事後学修	教科書p. 211-214を再読し、日本語教師とはどんな仕事か、何を求められているかを整理する				60分	
世界の日本語教育事情：海外の日本語学習者、日本語教育機関、海外で働くには						
事前学修	教科書p. 436-445を読み、予習シートを完成させる				60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する				60分	
日本国内の日本語教育事情①：日本の在留外国人、外国人施策、多様化する日本語学習者、多文化共生、日本語教育機関、ボランティア教室						
事前学修	教科書p. 423-445を読み、予習シートを完成させる				60分	
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる				60分	
日本国内の日本語教育事情②：認定日本語登録機関、日本語の試験（JLPT, EJU, J-TESTほか）						
事前学修	教科書p. 445-448を読み、予習シートを完成させる				60分	
事後学修	授業の内容を整理し、次週の小テストに備える				60分	
多言語多文化主義：複言語複文化主義、CEFR、日本語教育の参照枠、JFスタンダード（1～4回の内容についての小テスト）						
事前学修	教科書p. 389-391を読み、予習シートを完成させる				60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する				60分	

世界の中の日本語：母語話者数、言語のタイプなどを比較し、日本語を学習する時の困難さについて考える		
事前学修	教科書p. 165-183を読み、予習シートを完成させる	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる 次週の小テストの準備をする	60分
ボランティア教室の見学：活動がどのように行われているか、どのような学習者がどのように学習しているか、実際の教室を見学することでイメージをつかむ（5、6回についての小テスト）		
事前学修	教室への行き方、時間などを確認する	30分
事後学修	教室見学の感想をまとめる	60分
日本語教育の音声１：拍、アクセント、イントネーションなど韻律面から日本語の音声を眺め、円滑な音声コミュニケーションを行うための指導について考える		
事前学修	教科書p. 110-114, 470-474, 488-494を読み、予習シートを完成させる 音声について事前に学習したことがあれば、その内容を復習しておく	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる	60分
日本語教育の音声２：調音点、調音法など音声面から日本語の音声を眺め、円滑な音声コミュニケーションを行うための指導について考える		
事前学修	教科書p. 460-494を読み、予習シートを完成させる 音声について事前に学習したことがあれば、その内容を復習しておく	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる 次週の小テストの準備をする	60分
日本語教育の文字：他言語の文字と比較をしながら、日本語の文字の特徴や学習の困難さについて理解し、授業の中で文字をどのように扱うのかを考える（8、9回についての小テスト）		
事前学修	教科書p. 184-191を読み、予習シートを完成させる	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる	60分
日本語教育の語彙：日本語の形態論的特徴や、語と語の意味関係について理解し、効果的な語彙の教え方や説明の方法を考える		
事前学修	教科書p. 115-125, 130-141を読み、予習シートを完成させる	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる 次週の小テストの準備をする	60分
日本語教育の文法１：日本語教育における品詞や、動詞のグループ、活用形について理解する（10、11回についての小テスト）		
事前学修	教科書p. 25-30を読み、予習シートを完成させる 高校までに習った国語文法について復習しておく	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる	60分
日本語教育の文法２：日本語教育における形容詞、助詞について理解する		
事前学修	教科書p. 31-34, 42-48, を読み、予習シートを完成させる	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる 次週の小テストの準備をする	60分
日本語教育の語用論：日本語の曖昧さ、わかりにくさについて考え、敬語、位相、非言語行動、語用論的規範について理解する（12、13回についての小テスト）		
事前学修	教科書p. 145-164, 402-412, を読み、予習シートを完成させる	60分
事後学修	授業の内容を整理し、まとめる	60分
日本語教師の資質：授業のまとめとして、日本語教師に必要な資質・能力を考える やさしい日本語：非日本語母語話者との円滑なコミュニケーションのために、どのような工夫をすればわかりやすい日本語ができるのか理解し、使えるようになる		
事前学修	教科書p. 412-414, を読み、予習シートを完成させる ここまでの授業での学びを振り返り、日本語教師にはどのような資質が必要か考える	60分
事後学修	期末レポートの準備をする	180分

試験等
最終レポート
試験のフィードバックの方法
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
超基礎・日本語教育／森篤嗣／くろしお出版／1600／9784874248034／冊子版
超基礎・日本語教育のための 日本語学／太田 陽子／くろしお出版／1800／9784874248850／冊子版
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
いちばんやさしい日本語教育入門／今井新悟／アスク出版／2000／9784866391915／冊子版
日本語教師のためのCEFR／奥村 三葉子／くろしお出版／2000／9784874247013／冊子版
【第5版】日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド 日本語教育能力検定試験学習書／ヒューマンアカデミー／著／翔泳社／3200／9784798167190／冊子版
その他授業で指示する
オフィスアワー
質問等はメールでも受け付ける
連絡先
s8277@m.ndsu.ac.jp alamakbole@gmail.com
留意事項
ボランティアクラスの見学は火曜の夜（18時-21時）になります。 人数が多い場合は、複数回に分けて行います。 予定が調整できるようにしておいてください。

日本語教授法IB			【単位数		2単位
授業コード	16805	科目ナンバリング	560A2-2000-x2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	青井 由佳				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
この授業では、多様な学習者それぞれに効果的で、よりよい授業を作る方法について考えます。そのために、外国語教授法の変遷とその効果、教科書を分析する観点を知り、代表的な初級文型の分析を踏まえて、それをどのように学習者に伝えるのかを考えます。そして、日本語の授業全体の流れをつかみ、授業計画を立て、受講生を相手に短い模擬授業を行います。					

初級文型 3：動詞について（１）、特に活用形に注目して指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で扱われ、活用形等はどのような順で提出されているのかを考える（４，５回についての小テスト）		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分
初級文型 4：動詞について（２）、特にVて形を使った表現について指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような順で提出されているのかを考える		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する。次週の小テストの準備をする	60分
初級文型 5：助詞について、特に「に」「で」について指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような語彙とともに扱われているのかを考える（6，7回についての小テスト）		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分
初級文型 6：授受表現について指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような語彙とともに扱われているのかを考える		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する。次週の小テストの準備をする。	60分
初級文型 7：いわゆる「は・が文」について指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような語彙とともに扱われているのかを考える（8，9回についての小テスト）		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する。	60分
授業の流れを考える 1：4～10回で扱った文型を扱う15分程度の授業の教案を作る準備（直説法の授業を体験する、授業の流れ、教材教具、教案の書き方、担当決め）		
事前学修	4～10回の内容を扱った授業がどのように行われるかを考える。 教科書p233-242を読み、予習シートを完成させる	90分
事後学修	担当する授業の教案を作成する	120分
授業の流れを考える 2：作成した教案について各自発表し、修正する		
事前学修	教案を作成してくる	120分
事後学修	授業を踏まえ、教案を修正する 教材や教具を準備する	120分
授業の流れを考える 3：修正した教案に必要な教材教具を準備する		
事前学修	教案の修正と教材教具の準備	120分
事後学修	教案の修正と教材教具の準備 模擬授業に向けての練習	120分
模擬授業 1（グループ 1）：受講生を前に授業を行い、再度教案を修正する		
事前学修	教案の修正と教材教具の準備 模擬授業に向けての練習	120分
事後学修	模擬授業を踏まえて、再度教案を修正する	60分
模擬授業 2（グループ 2）：受講生を前に授業を行い、再度教案を修正する		
事前学修	教案の修正と教材教具の準備 模擬授業に向けての練習	120分
事後学修	模擬授業を踏まえて、再度教案を修正する	60分

試験等
レポート（模擬授業後に修正した教案を提出する）
試験のフィードバックの方法
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
超基礎・日本語教育／森篤嗣／くろしお出版／1600／9784874248034／冊子版
超基礎・日本語教育のための 日本語学／太田 陽子／くろしお出版／1800／9784874248850／冊子版
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
【第2版】みんなの日本語初級1本冊／スリーエーネットワーク／編著／スリーエーネットワーク／2500／9784883196036／冊子版
できる日本語 初級 本冊／できる日本語教材開発プロジェクト／アルク／3400／9784757419773／冊子版
まるとと 日本のことばと文化 入門 A1 りかい／独立行政法人国際交流基金／三修社／1700／9784384057539／冊子版
日本語教育実践入門／近藤 安月子／東京大学出版会／2900／9784130820219／冊子版
Can-doで教える 課題遂行型の日本語教育／来嶋洋美／三修社／2500／9784384061178／冊子版
初級日本語文法と教え方のポイント／市川保子／著／スリーエーネットワーク／2000／9784883193363／冊子版
日本語教育よくわかる教授法／小林ミナ／アルク／2000／9784757433175／冊子版
その他、授業にて指示する。
オフィスアワー
質問等はメールでも受け付ける
連絡先
s8277@m.ndsu.ac.jp alamakbole@gmail.com
留意事項
積極的に授業に参加し、発言してください 模擬授業の準備は特に計画的に行ってください

日本語教授法IIA		【単位数	2単位
授業コード	16811	科目ナンバリング	560A2-3000-x2
開講年度学期	2025年度第1期		
担当者氏名	青井 由佳		
時間割備考			
授業形態（主）	1 講義		
授業形態（副）	2 演習		
担当形態	単独		
研究分野（大学院）			
本授業の概要			
この授業では、多様な学習者それぞれに効果的で、よりよい授業を作る方法について考えます。そのために、外国語教授法の変遷とその効果、教科書を分析する観点を知り、代表的な初級文型の分析を踏まえて、それをどのように学習者に伝えるのかを考えます。そして、日本語の授業全体の流れをつかみ、授業計画を立て、受講生を相手に短い模擬授業を行います。			
アクティブラーニングの実施内容		問題解決型学習	
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	1. 日本語教師として学習者の学習活動を効果的なものとするために、様々な外国語教授法の変遷とその特徴、技法、教育効果について理解する。	知識・技能／思考・判断・表現力	
2	2. 日本語教育で使われる教材・教科書を分析する観点を理解する。	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	3. A1, A2レベル（初級前半）の主要な文法項目を分析、理解し、それぞれの教科書でどのような文脈で扱われているかを比較することができる。	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4	4. 授業の流れについて理解し、授業計画を立て、短い模擬授業を行うことで、これまでの知識の活用や具現化につなげることができる。	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
5	5. 授業を客観的に分析する視点について理解し、振り返りと改善計画を通して、よりよい授業を作る方法を理解する。	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1	模擬授業（教案20%、授業準備10%、授業10%）40%	1／2／3／4／5	
2	リアクションペーパー、最終レポート（教案修正）、その他提出物 40%	3／4／5	
3	授業への参加度20%	1／2／3／4／5	
4		1／2／3／4／5	
5			
実務経験のある教員による授業科目		実務あり	
実務経験の授業への活用方法			
講師は外国人留学生等に対する日本語教育に長年携わっている。その経験を基に、効果的な授業の作り方や想定される学生の質問等にどう対応するかを提案、指導する。			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
オリエンテーション、スケジュール確認 コースデザイン：学習者について考える（ニーズ、レディネス）、カリキュラムデザイン、バックワードデザイン			
事前学修	日本語教授法1（A, B）で学んだことを復習	90分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	90分	
教室・言語環境の設定：どこで、どのようなクラスを作るか。クラス授業／オンライン授業、アクティブラーニング、ICTを使った学習			
事前学修	学習者の多様性について考える。それぞれにどのような学習方法がふさわしいかイメージを持つ	60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分	
教科書とシラバス：シラバスとは何かを理解し、『まるごと』『みんなの日本語』『できる日本語』の対象者や目標、どのようなシラバスに基づいて作られているかを考える			
事前学修	日本語の初級教科書にどのようなものがあったか、振り返る	60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分	
初級文型1：「NはNです」について、指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような語彙とともに扱われているのかを考える			
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分	
初級文型2：形容詞について、指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような語彙が扱われているのかを考える			
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する。	60分	

初級文型 3：動詞について（１）、特に活用形に注目して指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で扱われ、活用形等はどのような順で提出されているのかを考える		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分
初級文型 4：動詞について（２）、特にVて形を使った表現について指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような順で提出されているのかを考える		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する。次週の小テストの準備をする	60分
初級文型 5：助詞について、特に「に」「で」について指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような語彙とともに扱われているのかを考える		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分
初級文型 6：授受表現について指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような語彙とともに扱われているのかを考える		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する。	60分
初級文型 7：いわゆる「は・が文」について指導上の留意点を整理し、各教科書ではどのような文脈で、どのような語彙とともに扱われているのかを考える		
事前学修	配布資料を読み、どのような場面で何ができるようになるかを考える。	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する。	60分
授業の流れを考える 1：4～10回で扱った文型を扱う60分程度の授業の教案を作る準備（授業の流れ、教材教具、教案の書き方）		
事前学修	4～10回の内容を扱った授業がどのように行われるかを考える。	90分
事後学修	担当する授業の教案を作成する	120分
授業の流れを考える 2：作成した教案について各自発表し、修正する		
事前学修	教案を作成してくる	120分
事後学修	授業を踏まえ、教案を修正する 教材や教具を準備する	120分
授業の流れを考える 3：修正した教案に必要な教材教具を準備する		
事前学修	教案の修正 教材教具の作成	120分
事後学修	教案の修正と教材教具の準備 模擬授業に向けての練習	120分
模擬授業 1：受講生を前に授業を行い、再度教案を修正する		
事前学修	教案の修正と教材教具の準備 模擬授業に向けての練習	120分
事後学修	模擬授業を踏まえて、再度教案を修正する	60分
模擬授業 2：受講生を前に授業を行い、再度教案を修正する		
事前学修	教案の修正と教材教具の準備 模擬授業に向けての練習	120分
事後学修	模擬授業を踏まえて、再度教案を修正する	60分

試験等
レポート（模擬授業後に修正した教案を提出する）
試験のフィードバックの方法
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
【第2版】みんなの日本語初級1本冊／スリーエーネットワーク／編著／スリーエーネットワーク／2500／9784883196036／冊子版
できる日本語 初級 本冊／できる日本語教材開発プロジェクト／アルク／3400／9784757419773／冊子版
まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 りかい／独立行政法人国際交流基金／三修社／1700／9784384057539／冊子版
超基礎・日本語教育のための 日本語学／太田 陽子／くろしお出版／1800／9784874248850／冊子版
日本語教育実践入門／近藤 安月子／東京大学出版会／2900／9784130820219／冊子版
Can-doで教える 課題遂行型の日本語教育／来嶋洋美／三修社／2500／9784384061178／冊子版
【第5版】日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド 日本語教育能力検定試験学習書／ヒューマンアカデミー／著／翔泳社／3200／9784798167190／冊子版
その他、授業にて指示する。
オフィスアワー
質問等はメールでも受け付ける
連絡先
s8277@m.ndsu.ac.jp alamakbole@gmail.com
留意事項
積極的に授業に参加し、発言してください 模擬授業の準備は特に計画的に行ってください

日本語教授法IIB		単位数	2単位
授業コード	16813	科目ナンバリング	560A2-3000-x2
開講年度学期	2025年度第2期		
担当者氏名	青井 由佳		
時間割備考			
授業形態（主）	1 講義		
授業形態（副）	2 演習		
担当形態	単独		
研究分野（大学院）			
本授業の概要			
この授業では、目的、目標、実施方法から評価の方法までを含む、日本語教育が行われるコース全体のデザインについて考えます。特に、「何ができるようになるか」から授業を作り始めるバックワードデザインを意識して、授業を考えます。そして、さまざまな評価の方法について考えます。単なる知識に留めることなく、常に実践を意識できるように、具体的な教科書を詳しく分析しながら、自分の授業をデザインし、模擬授業、評価を行います。模擬授業は、母語の異なる学習者のクラスを想定し、各自任意の1課全体の授業を作り、教材等を準備します。教案や教材作成のためにはPCの基本的な操作も必要です。			
アクティブラーニングの実施内容		模擬授業・模擬保育	
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	1. 日本語教育プログラムの構成要素について理解し、日本語教育プログラムの目的・目標に沿ったコースデザインの方法や学習環境の教育上の影響・効果についてについて理解する	知識・技能／思考・判断・表現力	
2	2. 授業計画の一連の流れを、実際の授業案作成と模擬授業を通して理解する	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	3. 教案や効果的な教材作成のためのPCの使い方を知る	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4	4. 目標や目的に応じた多様な評価の方法について理解する	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1	模擬授業準備（課分析、教案、教具）30%	1／2／3／4	
2	模擬授業20%	1／2／3／4	
3	授業への取り組み20%	1／2／3／4	
4	最終レポート30%	1／2／3／4	
5			
実務経験のある教員による授業科目		実務あり	
実務経験の授業への活用方法			
講師は外国人留学生等に対する日本語教育に長年携わっている。その経験を基に、効果的な授業の作り方や想定される学生の質問等はどう対応するかを提案、指導する。			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
スケジュール確認、評価①：「日本語教育の参照枠」における日本語能力観と評価			
事前学修	「日本語教育の参照枠」を読んでくる	60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分	
評価②：評価の目的と方法、さまざまな評価、テストによる評価／テストによらない評価			
事前学修	学習者が授業の目的を達成できたかどうか、どのように確かめるかを考えてくる	60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分	
「JF日本語教育スタンダード タスクと評価基準の例」のページで、A2～B2のレベルを把握し、具体的な評価の方法を見る			
事前学修	『まるごと』の授業はどのような評価ができるか考える	60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分	
『まるごと』の分析：背景にある理念、シリーズ全体の構成、各課の構成と使い方、評価方法			
事前学修	『まるごと』は全体としてどのような構成になっているか考える	60分	
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分	
『まるごと 初級1A2 りかい』トピック1, 4, 5, 6, 7についての授業を「使い方」に沿って考える①：担当決め、クラスの設定、学習者役の設定、語用訂正の方法、フィードバック、どのような授業を目指すかを考える（受講生間でお互いの授業評価の基準を設定）			
事前学修	『まるごと』初級1A2りかい のトピックを調べてくる	60分	
事後学修	担当課の分析と授業案の作成	120分	

『まるごと 初級 1A2 りかい』の授業を考える②：担当トピック全体の授業案を評価方法も含めて考え、作成する。授業案はgoogle ドライブ上で共有する		
事前学修	担当課の分析と授業案の作成	120分
事後学修	担当課の分析と授業案の作成	120分
『まるごと 初級 1A2 りかい』の授業を考える③：作成した授業案の発表、意見交換、教案修正		
事前学修	授業案の作成	120分
事後学修	授業でのフィードバックを受けて授業案を修正する	120分
『まるごと 初級 1A2 りかい』の授業を考える④：授業で使用する教材教具を準備し、使い方も確認する		
事前学修	授業案の修正 教材教具の準備	120分
事後学修	授業案の修正 教材教具の準備	120分
『まるごと 初級 1A2 りかい』の模擬授業①：作成した授業案をもとに30分程度の授業を行う（グループ1）、第8回で設定した授業評価基準に基づいてお互いに評価を行う		
事前学修	模擬授業の準備	120分
事後学修	模擬授業を踏まえての教案の修正等	120分
『まるごと 初級 1A2 りかい』の模擬授業②：作成した授業案をもとに30分程度の授業を行う（グループ2）、第8回で設定した授業評価基準に基づいてお互いに評価を行う		
事前学修	模擬授業の準備	120分
事後学修	模擬授業を踏まえての、教案の修正等	120分
言語理解の過程①：二重貯蔵モデル、ワーキングメモリ、言語知識		
事前学修	配布資料を読んてくる	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分
言語理解の過程②：談話とは、談話理解、言語処理、トップダウン処理とボトムアップ処理		
事前学修	配布資料を読んてくる	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分
受容と産出：学習者をイメージしながら「参照枠」の日本語能力観と方略can-do、能力can-doを読み、理解する		
事前学修	配布資料を読んてくる	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分
「聞く」技術と指導法：聴解のプロセス、教材と使用例 「話す」技術と指導法：発表とやりとり、発話のプロセス、教材と使用例		
事前学修	配布資料を読んてくる	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分
「読む」技術と指導法：読解のプロセス、教材と使用例 「書く」技術と指導法：さまざまな活動、教材と使用例		
事前学修	配布資料を読んてくる	60分
事後学修	授業の内容をまとめ、整理する	60分

日本語教育実習事前・事後指導I			単位数	2単位	
授業コード	16820	科目ナンバリング	560A3-3000-x2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	青井 由佳				
時間割備考					
授業形態（主）	3 実験・実習・実技				
授業形態（副）	1 講義				
担当形態	クラス分け				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
本学の協定校である台湾輔仁大学に赴き、実際に行われている日本語の授業を見学し、実際の学習者を前に教壇実習を行うための準備をこの授業では行います。実習は、日本語学習歴約1年半の学習者を対象に、100分の授業を二人で担当（一人50分の予定）。授業の目標を立て、教案を作成し、修正を重ねて、よりよい授業となるように受講者間でも意見を出しながら準備を進めます。また、台湾での日本語教育の歴史や、現在の状況などについても理解を深め、学習者の背景や目的に合った授業をすることを目指します。					
アクティブラーニングの実施内容		模擬授業・模擬保育			
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）		
1	1. 台湾での実習に向けての教案が作成できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	2. 模擬授業を通して教案を修正し、教材教具等も準備できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	3. 台湾を中心とした日本語教育の歴史や現状を理解し、学習者の背景を知り、学習者に適切に接する態度を考えることができる。			知識・技能／思考・判断・表現力	
4					
5					
成績評価の基準			対応する到達目標の番号		
1	授業参加姿勢40%			1／2／3	
2	教案・教材作成60%			1／2	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
講師は外国人留学生等に対する日本語教育に長年携わっている。その経験を基に、効果的な授業の作り方や想定される学生の質問等にどう対応するかを提案、指導する。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
オリエンテーション 今後の予定、担当項目決定など					
事前学修					
事後学修	オリエンテーションでの説明を整理し、よく覚えておく 全体のスケジュールを把握し、自分の予定を管理する				30分
日本語教育史（戦前・戦中）					
事前学修	「外国語教授法の変遷」を復習しておく 明治以降の日本とアジア諸国の関係を復習しておく				2時間
事後学修	授業内容を整理し、まとめる。				30分
現在の台湾の日本語教育事情					
事前学修	第2週の授業内容を復習しておく				60分
事後学修	授業の内容をよく整理しておく。 台湾実習で気を付けることは何かを考える。				60分
教材分析：『まるごと初中級A2／B1』の分析を行い、担当するトピックを決定する					
事前学修	台湾輔仁大学での日本語教育について調べる				60分
事後学修	担当するトピックが決定した理由をまとめ、整理しておく このトピックからどんな活動が可能かを考える				60分
教案・教材作成 1：項目分析：担当項目の分析を行い、授業で何ができるようになるか、そのために何が必要かを考え、語彙や文法表現などについて整理し、分析する					
事前学修	4週目で決めた担当するトピックからどんな活動が可能かを考える その活動のゴールを考え、そのためにはどんな文法項目や語彙が必要かを考える				60分
事後学修	考えた必要な文法項目や語彙・表現をどのように並べていけば活動のゴールに到達できるかを考える。				90分

教案・教材作成 2：アウトライン作成：授業全体の流れを考える		
事前学修	第5週で考えた必要な文法項目や語彙・表現をどのように並べていけば活動のゴールに到達できるか考える。	90分
事後学修	アウトライン、授業全体の流れから、細かい活動を考え、教案を作成する	90分
教案・教材作成 3：教案作成		
事前学修	アウトライン、授業全体の流れから、細かい活動を考え、教案を作成する	90分
事後学修	授業で見た他の学生の教案も参考にしながら、自分の作成した教案を修正する	90分
教案・教材作成 4：教案修正、教材作成		
事前学修	先週の授業で見た他の学生の教案も参考にしながら、自分の作成した教案を修正する	90分
事後学修	教案の修正をする 教材を作成する	120分
模擬授業 1（グループ1）		
事前学修	教案の修正をする 教材を作成する	120分
事後学修	模擬授業を基に、教材、教案を修正する	90分
模擬授業 1（グループ2）		
事前学修	模擬授業を基に、教材、教案を修正する	120分
事後学修	模擬授業を基に、教材、教案を修正する	120分
教案・教材修正 1：教案修正		
事前学修	模擬授業を基に、教材、教案を修正する	120分
事後学修	模擬授業を基に、教材、教案を修正する	120分
教案・教材修正 2：教案修正		
事前学修	模擬授業を基に、教材、教案を修正する	120分
事後学修	模擬授業を基に、教材、教案を修正する	120分
模擬授業 2（グループ1）		
事前学修	模擬授業を基に、教材、教案を修正する	120分
事後学修	模擬授業を基に、教材、教案を修正する	120分
模擬授業 2（グループ2）		
事前学修	模擬授業を基に、教材、教案を修正する	120分
事後学修	模擬授業を基に、教材、教案を修正する	120分
出発前準備		
事前学修	模擬授業を基に、教材、教案を修正する 移動に必要なものを準備する	120分
事後学修	模擬授業を基に、教材、教案を修正する 移動に必要なものを準備する 体調を整え、当日に備える	60分

試験等
最終教案を提出（レポート）
試験のフィードバックの方法
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
『まるごと日本のことばと文化 初中級』三修社
『日本語教育教科書 日本語教育能力検定試験 完全攻略ガイド 第5版』（翔泳社）（教育史部分）
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業において指示する
オフィスアワー
事前相談の上、適宜（主に木、金） s8277@m.ndsu.ac.jp
連絡先
s8277@m.ndsu.ac.jp
留意事項

日本語教育実習			[単位数		1単位
授業コード	16840	科目ナンバリング	560A4-3400-x1	開講年度学期	2025年度第2期、2026年度第1期
担当者氏名	青井 由佳				
時間割備考	実習：3月				
授業形態（主）	3実験・実習・実技				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
本学の協定校である台湾輔仁大学に赴き、実際に行われている日本語の授業を見学し、「日本語教育実習事前指導」において作成した授業案を基に、実際の学習者を前に教壇実習を行う。実習は100分の授業を二人で担当する（一人50分の予定）。実習終了後は、輔仁大学の受け入れ担当教員からもコメントやアドバイスをいただきながら、授業の改善点などについて振り返りを行う。実習の様子は録画して、帰国後の全体的な振り返りの際や報告会、次年度以降の参考のために使用する。					
アクティブラーニングの実施内容		体験学習			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1知識・技能/2思考・判断・表現力/3主体性）	
1	1. 実際に日本語教育が行われている現場を見学し、教育の方法・工夫などに気づくことができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	2. 「日本語教育実習事前指導」において作成した授業案を基に、実際の学習者を対象として異文化間教育の授業が実践できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	3. 授業の実践を客観的に振り返り、今後の実践に活かすことができる。			知識・技能／思考・判断・表現力	
4	4. 現場の教師や日本語学習者との交流を通して、外国語を学ぶ意義や目的について再考できる。			思考・判断・表現力／主体性	
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業参加姿勢（見学时、実習時、振り返り時）40%			1／2／3／4	
2	実習のパフォーマンス20%			2	
3	総合レポート40%			1／2／3／4	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
講師は外国人留学生等に対する日本語教育に長年携わっている。その経験を基に、効果的な授業の作り方や想定される学生の質問等に対応するかを提案、指導する。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
実習は2026年3月中に5日程度の予定で行われる。 授業見学：台湾の大学で実際に行われている授業を見学する。教師の振る舞いだけでなく、学習者の反応などもよく観察する。					
事前学修					
事後学修	見学したメモを整理する。観察の結果得た情報を自分の実習や実践に活かす。				30分
実習：「日本語教育実習事前指導」において作成した授業案を基に、実際の学習者を前に教壇実習を行う。実習は100分の授業を二人で担当する（一人50分の予定）。学習者と積極的に交流し、自らの異文化調整能力を向上させる実践を目指す。					
事前学修	教案を見直す。教材や教具、手順等の確認。				60分以上
事後学修	実習の振り返り。うまくいったところやいかなかったところ、その原因、対処法について考える。				60分以上
実習補佐：ペアの学生が授業を行っている際は、アシスタントとして授業を補佐する。学習者と積極的に交流し、自らの異文化調整能力を向上させる実践を目指す。					
事前学修	教案、教材教具の確認。				60分
事後学修	ペアの学生の実習の振り返り。うまくいったところやいかなかったところ、その原因、対処法について考える。				60分
実習見学：他の学生が授業を行っている際は、その授業を見学し、実習内容についてコメントする。					
事前学修	ビデオ機材等の準備				30分
事後学修	振り返り。授業を見学していて気付いたうまくいったところやいかなかったところ、その原因について整理し、実習者に伝える。				30分
振り返り：輔仁大学の先生方から実習についてのフィードバックをいただく。					
事前学修	自分の実習についての反省点を整理しておく				60分
事後学修	いただいたコメントを整理し、どうすればもっとよい授業ができるか考える				60分

振り返り：各自実習を振り返り、改善点などをまとめる。		
事前学修	実習について、反省点等を整理しておく。自分のものだけでなく、見学した実習についても気づいた点などを整理しておく。	60分
事後学修	総合レポートのために、改善点等をまとめる	60分以上
事前学修		
事後学修		
事前学修		
事後学修		
事前学修		
事後学修		
事前学修		
事後学修		
事前学修		
事後学修		
事前学修		
事後学修		
事前学修		
事後学修		
事前学修		
事後学修		
事前学修		
事後学修		
事前学修		
事後学修		

試験等
実習、総合レポート
試験のフィードバックの方法
実習のフィードバックは現地で行う。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
『まるごと日本のことばと文化 初中級』三修社（「日本語教育実習事前指導」からの継続。新たに購入する必要はない）
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし。
オフィスアワー
事前連絡の上、随時（主に木曜、金曜）
連絡先
s8277@m.ndsu.ac.jp alamakbole@gmail.com
留意事項
実習内容等については「日本語教育実習事前指導」において説明、準備等を行い、そこで作成された教案に基づいた実習を行う。 実習は3月に5日間の滞在日程で行う。 授業は基本的に2人でペアを組み、100分の授業を分担して行う。授業は一人50分（1ペアで100分）を1回行う。授業の主担当にならない時間はアシスタントを担当する。 授業の様子は録画して将来の自分の授業に役立てるとともに、次年度以降の実習生の参考として残す。 実習終了後は、受け入れ担当教員を交えての反省会を現地で行う。 教材作成にあたっては、日本語教員養成課程研究室に設置してあるPC等も使える。 なお、日台の新型コロナウイルスの感染状況ならびに日台の出入国の制限状況によっては、岡山市内の日本語学校等で実習を行なうこともある。